

健康経営

実践企業に学ぶ

17

創業から70年以上、宇陀、そして奈良と共に成長を積み重ね、公共・商業施設から一般住宅の建築、社寺の修復や土木事業まで幅広く対応し、地域の特色にあった空間を提供する松塚建設。

2022年の協会けんぽと宇陀市、宇陀商工会との包括連携協定を機に健康経営を意識した同社は、23年から25年まで3年連続で健康経営優良法人の認定を受けている。

社員の平均年齢が上がり、定年を越えての継続雇用者が増えてきたこともあり「より健康への意識改革の必要があった」と話す井上社長。



井上清利社長

松塚建設



全社員を対象に実施した健康講座

ピスを活用し、講師を招いて、全従業員を対象とした健康講座の開催や隙間時間にできるストレッチの周知などを行っている。

「今年中に腰の痛みに悩む従業員を全体の25%以下にできれば」と井上社長は話す。70代から20代まで3世代が活躍する同社では、「健康」というキーワードをもとに世代を越えてコミュニケーションが円滑になったという。

また、社員から自主的に参加したいという声から、今年初めて奈良マラソンのボランティアに参加した。「意欲的に社員から声がかかることに、健康意識の高まりを感じる」と井上社長。

従業員の生産性低下の防止や事故発生の予防を進めていきたいとする同社は、一昨年に行った社内アンケートで、腰の痛みに悩む従業員が全体の約36%を占めることがわかったという。そこで、協会けんぽの「職場における健康講座」などのサー

さらに、このような活動を通じて世代だけではなく、部署間でのコミュニケーションもより円滑になったという。

事故防止、生産性低下予防に

一人ひとりが元気に働くことが、社員にとっても会社にとって一番大事なことも、社長の「社員とそこが家族の健康ももちろん大切。家庭の健康も考えられる会社を目指していきたい」と話す。子ども向けや若い世代向けの産業イベントにも参加する同社。健全な企業であり続け、今後も地元採用を積極的に行い、3世代が活躍する当社で、若手の育成にも寄与したいという井上社長。

商工会とも連携して、建設業と他業種とが協力し、学びや気付きを得ながら「地元と業界の活性化に貢献していきたい」と意気込む。

会社概要

- 所在地/宇陀市榛原福地610番地1号
- 電話/0745 (82) 1371
- 創業/1951年7月
- 事業内容/土木、建築、大工、左官工事業など

(毎月第4木曜日掲載)